



茶の香だより

第12号

平成29年1月11日発行

発行元：武蔵村山市立第五中学校

学校運営協議会

編集：学習部

2017年酉年

飛翔

新年の御挨拶

学校運営協議会会長 加園 一茂

新年明けましておめでとうございます。本年も宜しく願いいたします。

本校コミュニティ・スクールは平成26年度にスタートし、現在3年目を迎えております。五中コミュニティ・スクールの委員は主に自治会長、自治会役員、保護司、民生委員、青少対委員、おやじの会役員、PTA会長、元PTA本部役員、地域郵便局長、五中教職員で構成されており、委員の他に五中の先生方11名に御協力をいただき現在28名で活動しています。

平成26年度に武蔵村山市内の全ての小中学校がコミュニティ・スクールとして指定されました。武蔵村山市は小さな市ですが、地域や学校ごとに特徴や特色が違います。よってコミュニティ・スクールも学校ごとに活動内容は異なります。私たち五中コミュニティ・スクールは学校と地域をより連携させ、学校先生方と我々地域住民それぞれの得意とする分野を生かしながら五中の生徒の為、そして地域の為に少しでもお役に立つ活動をしていく所存でございます。今後も五中学校運営協議会の活動に御理解・御協力の程、宜しく願いいたします。



【羽ばたく一年を目指して！】

学習部長 田中 比佐子

謹んで新年の御挨拶を申し上げます。昨年中は学習部の活動におきまして、地域の皆様からの御支援・御協力をいただきまして、誠にありがとうございました。振り返りますと、昨年7月の学習サポーター参加の夏季補習教室では、新たな試みとして五中のデジタルアート部の生徒さんに学習サポーター募集のポスターを作成していただき、サポーターとして御協力いただいております武蔵村山高校に掲示させていただきました。また、12月の進路模擬面接練習では、6日間の面接練習に武蔵村山分区の保護司の方々が御参加いただきまして、コミュニティ・スクール委員を合わせて11名が二人1組となり、60人の生徒さんの面接練習の面接官を担当させていただきました。生徒さんも面接担当者も本番さながらの緊張感と真剣な空間の中、充実した面接練習が行われました。私共の学習部の活動も本年で4年目を迎えますが、更に羽ばたく酉年の一年を目指してまいりますので、御理解・御協力いただきますよう、よろしく願い申し上げます。



【2017年 活動抱負】

地域連携部長 荒幡 善政

地域連携部は地域連携行事やボランティア活動等の活性化を目指して設立された部会です。

昨年は、五中フェスティバルや職場体験、地域ボランティアに地域の方々による多大なる御協力をいただきまして、各行事も生徒たちにとってかけがえのない体験の場となりました。改めまして御礼申し上げます。ありがとうございます。

今年4月からは更に五中の生徒が増える予想をしています。また新2年生も増えますので、職場体験の場所や、五中フェスティバルの講座が不足してしまう可能性が出てきました。新たに職場体験の開拓や、五中フェスティバルの講座開拓をしていかななくてはなりません。学校運営協議会委員やPTAだけではどうしても情報が少ない状態です。地域の方々で、「こんな職場はどうだろう」「こんな特技がある人を知っているのだけど」など情報をおもちの方は、是非五中地域連携部か五中学校運営協議会にお知らせいただければと思います。

今年も生徒たちの活動に地域の方々の力を生かしていけるよう、頑張っていきたいと思います。



【新年の抱負】

生活部長 堀内 一弘

新年あけましておめでとうございます。早いもので今年度も残り3か月となりました。生活部では日の短いこの時期には、防犯パトロールに力を入れています。昨年も多くの方に御協力いただくことができました。改めて、感謝を申し上げます。

今年は、更にいろいろコミュニティの方と連携して充実したパトロールができるようにしたいと思っております。また、毎年3月に先生方、PTAの方の御協力もいただいて、校舎の廊下の壁のペンキ塗りを行っており、今年は1階部分を塗る予定です。新学期を綺麗な校舎で少しでも気持ちよく迎えてもらえたらと思います。生活部の活動も落ち着いてきましたので、余力があれば新たな取組を模索して検討していきたいと思っております。生徒の見守りと安全を第一に考え活動してまいりますので、保護者の方、地域の方などの御協力をお願い申し上げます。

★★学習部安部朋子さんによる、平成28年第3回コミュニティ・スクール総会の様子のレポートです★

11月14日、今年度コミュニティ・スクール総会が開催されました。

第五中学校も田中副校長と加園会長により「学校と地域の連携・五中コミュニティ・スクールの今までとこれから」という事例発表を行いました。各校区での事例発表や活動報告は委員にとりまして、とても参考になり興味深く聞き入りました。

その後、「地域とともにある学校を目指して」というメインテーマでの基調講演が行われました。内容は、小中一貫教育の要となる考え方です。キーワードは「共有・共通」「連続」「系統」学校と地域が連携し学校を核にして学校も地域も両方が元気にいきいきとなる。というものでした。

コミュニティ委員のつながり、日々の地道な小さな活動がとても重要であると再認識されました。